

県P通信

令和6年度 第2号



「楽しい子育てキャンペーン」
～家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～

第15回 長野県PTA三行詩コンクール 入賞作品

小学生部門1946点、中学生部門1937点、一般部門280点の応募がありました。

最優秀賞

(長野県PTA連合会長賞)

そっと頭をなでる母の手が
やさしくて
ねたふりをする

小澤 千菜羽さん
諏訪市立中洲小学校(6年)



優秀賞

(信州"教育の日"実行委員会会長賞)

「ありがとう」が嬉しい
兄と秘密の買い物
いつもの感謝を母の日に

近江澤 莉那さん
中川村立中川中学校(2年)



優秀賞

(信州"教育の日"実行委員会会長賞)

「いってきます」見えなくなるまで
手をふってくれた母
今は
「いってらっしゃい」見えなくなるまで
手をふる私

清水 瞳さん
佐久市立中込小学校(保護者)



○優良賞○

<小学生の部>

毎日妹と大げんか
顔も見たくないと思ったのに
今日もさがしてしまう全校集会
坂原 まおさん
千曲市立埴生小学校(5年)

まずは失敗してみよう
母の教えは私の支え
心の支え ありがとう
鈴木 こと葉さん
安曇野市立穂高北小学校(6年)

おそらにいるパパ
わたし1ねんせいになったよ
かんじをおぼえて
パパのなまえをかけるように
がんばるね
久保 紅秋さん
須坂市立高甫小学校(1年)

めいわくだなんて思っていない
おかあさんのやさしさを
いらないなんて思っていない
受けとる 私が はずかしいだけだから
花房 杏珠さん
長野市立保科小学校(6年)

<中学生の部>

学校の帰り道 静かな車内
独り占め
母との特別な時間
宮崎 茉衣乃さん
小諸市立芦原中学校(3年)

母が言った
「少し背がのびた?」
お母さん、毎月のように言っているよ
白鳥 ひまりさん
松本市立鎌田中学校(3年)

「いってらっしゃい」「いってきます」
一日がんばれる 勇気の言葉
「ただいま」「おかえり」
安心できる すてきな言葉
桜井 堇さん
長野市立裾花中学校(1年)

あたり前の毎日
でも、あたり前じゃない
つないでもらった 私の命
吉池 姫帆さん
長野市立松代中学校(2年)

<一般の部>

ご飯を作った事のない子が家を出た
毎日のようにLINEで届く夕飯の写真
ちゃんと育ててくれて ありがとう
坂巻 由香さん
豊丘市立豊丘中学校

幼き日の君が 描いてくれた「かあちゃん」
もう色あせて ほこりかぶっちゃってる
でも ずっと 母ちゃんの宝物だよ
有地 小糸さん
須坂市立高甫小学校

いってらっしゃい おかえり
言える しあわせ
あなたが 巣立つ その日まで
原田 亜衣さん
中野市立豊田中学校

イライラしてるのは
あなただけじゃないのよ!
反抗期 vs 更年期
羽田 奈緒さん
長野市立鬼無里中学校

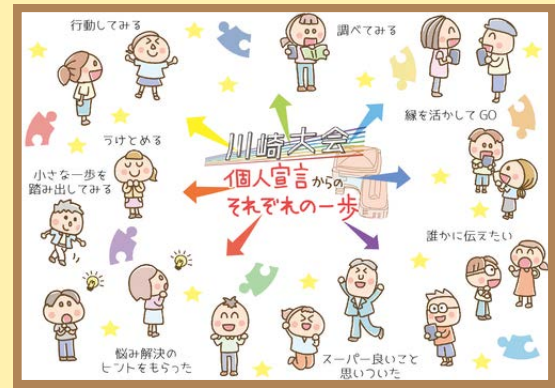


ウェルビーイングの実現を、川崎の地から
～活かそう「縁」の力～

8月23日・24日に神奈川県川崎市にて行われた全国研究大会・関東ブロック大会に長野県のPTA会員が参加しました。

本大会は川崎市とどろきアリーナ1会場に集結して行われ、全国各地から参集したPTAの方々セッションに参加し、学びや体験を共有するだけでなく、交流を通して縁もつむぐ事ができました。

大会の内容の一部と感想をご紹介します。



特別第1

研究課題 全国のPTAの縁をいかし力強く進める教育環境改善への提言 ～PTAの真の役割とは。ウェルビーイングな社会教育の促進～

「ウェルビーイング」という言葉を聞いて、大半の人が「ウェルビーイングとは?」「日本語で言ってくれませんか?」と思うはず。ウェルビーイングという言葉を用いている方(研究者やジャーナリスト)は、おそらくそう思われることを意図していて、「これって何ですか?」という疑問からの議論を通じて、今までの日本にはない「幸福」についての考えを定着させていこうとしているのだと感じました。

諏訪 樋川善史

全体基調講演

研究課題 誰もが幸せに暮らせる社会の実現に向けて ～全ての子供たちに「生まれてくれてありがとう」を届けよう!～

「大人の良かれは、子どもの迷惑!」あなたのためよ、と差し出されるメニューが子どもを苦しめる。その子どもにとって最善の利益は何かを考える。親にできるのはこれだけ「クウ、ネル、ダス」に気を配る。食べられているか、眠れているか、ウンチが出ているか、それだけを心配してればいい。子どもの存在まるごとを肯定的にみてあげるだけでいい、というお話をきき、私自身の子育ては「〇〇じゃなきゃ」「〇〇すべき」など子どもも自分も苦しめてきてしまった部分が多かったように感じました。この講演を聞いて、子育てに対する重荷が軽くなり、まだ間に合うかな、もっと早く聞いてれば子育てがもっと楽しめたかなと思います。

副会長 松澤雅子

特別第2

研究課題 大人が変われば子供も変わる!ウェルビーイングの社会実装 ～学び保障の政策を社会に根付かせることの大切さ～

子どもたちには、どんな状況になってもそれを乗り越えていける力を身につけてほしいといつも願っています。そのためにはやはり自分で考える力が必要であり、自分で経験して得た知識がその土台になるのだと改めて実感しました。

どんな小さなことでもいいから、子どもたちの土台となる経験や体験ができる機会を作っていけたらと思いました。

飯田下伊那 片桐幸子

セッション1

研究課題 多様性を認め合う心豊かな社会を目指して ～違いに気づきワクワクする人間関係が活動の力に!～

我が家には発達障がいの息子がおり、学校では『違い』を認めてもらえるようになってきている風潮に安堵しています。同時に、将来を考えた際には組織内で生きるのは大変なんだろうとも感じていて、今回のセッションでは周りの人とそういった話をする事ができ、大変有意義な時間でした。

保護者幹事 石坂晶子



セッション2

研究課題

子供たちと一緒に自己肯定感を高め合う家庭教育の大切さ ～子供たちへの報酬は「ほめること」。もっと親力を発揮しよう！～

親野先生の豊富な教育実践に裏付けされた実践者ならではの視点から、持続可能な誰にでもすぐ始められる「ほめ写」というアイデアが形となっているところにすばらしさを感じました。今のデジタル技術の進歩によって、写真は高度な描写やテクニックがなくても、誰でも時間をかけずに目で見て感じるものを伝えることが可能であり「ほめ写」をつくることで自ら楽しさや幸せを感じ、それが子どもたちの目を輝かせてさらに親子の自己肯定感を高める好循環をつくっている。それこそが「ほめ写」に込められている魅力と効果ではないかと思いました。

飯水 齊藤 隆

セッション3

研究課題

地域や社会に広げるウェルビーイング！住み続けたいまちへ ～全国大会ならではの！各ブロック大会等の活動事例から共に学ぼう～

地域社会とのつながりを大切に、PTAのイメージを変える様な工夫をしていました。動画では、語る人達がみんな楽しそうに話していて、大人達がやりたい事、やりたいと思った事をやって楽しく活動をしていました。

PTAは、活動や組織を変えてもよいという雰囲気になってきたと思いました。グループシェアもして、いろいろな話を聞いて参考になりました。

上高井 中澤将司

記念講演

研究課題

ウェルビーイングを社会に広げることの大切さ ～学びを振り返り、今こそ一歩踏み出す決意の瞬間を楽しもう！～

子どものため、仲間のために頑張るのは当たり前のように活動してきた、自分がとりあえずやっておけば良いかではなく、親がもっと楽しくワクワクしながら活動することが、子どもたちにも伝わり皆が幸せにウェルビーイングになっていくと感じました。

また、2日間とも講師の方々がとても幸せそうに話を話していて、聞いている側もとても幸せになりました。

副会長 高橋龍輔

ながの大会PR in 川崎大会

川崎大会2日目の「関東ブロック大会」で、来年10月18日・19日に開催する「第57回日本PTA関東ブロック研究大会ながの大会」を、お揃いの大会ポロシャツを着用し、長野県の参加者全員でPRしてきました。

スローガンが書かれた横断幕を先頭に、県歌「信濃の国」を歌いながらの入場。城村会長の挨拶、各分科会の紹介に続き、熊谷実行委員長が熱い思いを語りました。長野県PRキャラクター「アルクマ」も駆けつけ、会場を盛り上げてくれました。ふたたび県歌を歌いながらの退場の際には、たくさんの声援や手拍子もいただき、会場が一つとなる最高のPRタイムとなりました。

川崎で学んだ「縁」を信州で「結ぶ」ために！

さあ～チーム信州PTA！良い大会ができるように頑張って準備していきましょう！

広報委員長 高橋龍輔



第57回 日本PTA関東ブロック研究大会

ながの大会

開催日 10月18日(土) 分科会 県内4地区7会場
2025年10月19日(日) 全体会 ホクト文化ホール(長野市)



大会スローガン

「結」笑顔で未来をつくる

子どもと一緒にウェルビーイングの実現を信州から



がんばろう
信州!



長野県PTA連合会

事務局/〒380-0846 長野市旭町1098 信濃教育会館内
TEL.026-235-4361 FAX.026-235-1323
E-mail office@pta-naganoken.net



pta-naganoken.net



Facebook



安全互助制度における給付状況

長野県PTA 安全互助制度は単位PTA（学校）で団体加入をし、PTA活動に資する保険です。

2024年10月7日現在の給付状況をお知らせします。

郡市別給付件数

都市名	障害	賠償	合計
全佐久	1		1
上小			0
更埴			0
諏訪地区	2	4	6
上伊那	1	1	2
飯田下伊那	3		3
木曾郡			0
東筑摩塩尻	2		2
安曇野市		1	1
大北	1		1
松本市			0
上高井郡市			0
中高	1		1
上水内郡			0
飯水			0
長野市	1		1
合計	12	6	18

傷害別給付件数

ケガの態様	件数
骨折	1
捻挫 靭帯損傷など	1
切傷 刺創 擦り傷など	6
打撲 脳震盪	1
アキレス腱等 腱断裂	0
その他(熱中症 虫刺され 火傷など)	3
死亡	0
合計	12

活動別給付件数（傷害事故と賠償事故の合計）

内容	件数
スポーツ（親子レク時のものを含む）	0
作業（資源回収 草刈りなど）	15
遠足等（学校支援活動）	1
学級レクリエーション（ゲームなど）	1
交通事故	0
その他（バザー PTA役員会など）	1
合計	18

2024年度から引受保険会社がAIG損害保険に変わりました。

信州子育て応援総合補償制度

～大切なお子様のための補償制度～

長野県PTA連合会安全互助制度

～PTA活動を安心して行うために～



長野県PTA連合会

AIG損害保険株式会社 松本支店
〒390-0814 松本市本庄1-3-10 大同生命松本ビル
Tel: 0263-35-1933
受付時間：午前9時から午後5時まで（土・日・祝日・年末年始を除く）
<https://www.aig.co.jp/sonpo>

AIG AIG損保

「食」で学び舎を支える。



よい食材でたのしい給食

長野県学校給食会は学校教育活動の一貫として行われている学校給食の円滑な実施及びその充実発展に努め、学校給食における食育の推進を支援することにより、児童生徒の心身の健全な発達及び広く県民の健全な食生活の実現に寄与することを目的としております。

学校給食物資は、主食と副食がありますが、本会では、主食の原料となるコメや小麦粉を仕入れ、炊飯やパンの加工工場に製造を委託し、県下の各学校へお届けしています。副食については、缶詰、乾物、ハム、冷凍食品などの物資を供給しています。また、食育支援事業として、県産物を活用した献立コンクール、レシピ集の発行、パン審査・品質向上研修会などを実施しています。これまでに、関係機関と共同で、県産物を活用した商品も開発し供給しています。

子どもたちのために

公益財団法人 長野県学校給食会

〒381-0103 長野市若穂川田3800番地5
TEL 026-282-6080 FAX 026-282-6535



長野県小・中学校長会との教育懇談会

令和6年9月25日に長野県小・中学校の校長会と教育懇談会を行いました。それに先駆けて教育連携委員会を中心に、子どもたちを取り巻くさまざまな教育課題について話し合い「先生方の働き方改革を進めること」が課題の多くを解決することにつながるのではと考え、当日のテーマを「先生方の働き方改革を本気で応援する県PTA」～PTAとして多くの課題解決につながる取り組みること貢献できること～としました。懇談会当日は、先生方と保護者を交えたグループをつくり、ざっくばらんにお互いの立場を越えて意見交換をしました。



分科会 テーマ

1. 部活動の地域移行
2. 教科担任制（小）と学年担任制（中）
3. 多様化する子どもたちへの対応
4. 不登校対策
5. ICTを活用した教育
6. 給食と食育
7. 保護者と教職員のPTA未加入問題

先生方からは

- ・クラス内で保護者が孤立してしまうケースがある。
- ・学級懇談会への参加人数が少ない。
- ・学校で子ども同士のトラブルがあった場合、子どもが自ら考えて謝る機会を作り、子ども同士のコミュニケーションを大切にしたいと考えているが、保護者同士の面識がない場合が多く、教師がすぐに対応しないと苦情等につながりやすい。
- ・日頃から保護者同士のコミュニケーションが取れていればすんなり収まる話も、大ごとになり、解決するまでの時間が長くなっている。

といったお話がありました。

私たち親は、保護者同士しっかりとコミュニケーションをとってトラブルを減らし、先生方が働きやすい環境を作ることが子どもたちの笑顔に繋がると感じました。懇談会に参加したくてもできない保護者もいると思います。そこで、懇談会を先生任せにせず、PTAから働きかけて保護者が自分たちで集まりやすい時間帯を考え、ゲームなどでコミュニケーションをとりながら、楽しく仲良くできる環境を作っていきたいと思います。

現役の校長先生方と話し合い、保護者と先生方が協力して「PTAだからこそできることは何か」を全力で考える良い学びの場となりました。

教育連携委員長 宮原純平



信州の牧草を食べて
信州の酪農家の愛情いっぱい育てた牛の牛乳を
信州の人が飲んで育つ
わたしはメイドイン信州ー信州100%



わたしはメイドイン信州

長野県牛乳普及協会・長野県生乳生産販売委員会・JA全農長野



信

— Shin —

信州発「信頼」のその先へ

信教印刷株式会社 本社/〒381-0022 長野市大田島東4-321 026-222-5222 026-251-1770
営業所/〒174-0051 東京都板橋区小笠原2丁目20番24号(加印製株式会社内)
TEL:03-5970-9416 FAX:03-5970-9414

<http://shinkyu-p.com/index.html>

📰 広報紙コンクールの作品を募集します!

皆さんの学校の広報紙をコンクールに応募してみませんか?
令和6年4月から令和7年3月発行の広報紙が対象です。
印刷物は各号**6部**づつ、WEB版はデータでの応募となります。
募集期間は令和7年3月末まで!

他の学校はどうやって作っているの?
広報紙って何を載せたらいいの?

そんな疑問もふくめ、コンクールの詳細は県PTA事務局まで
お気軽にお問合せください。



問い合わせ先→

発行・編集

長野県PTA連合会
情報発信部

住所
長野市旭町1098
信濃教育会館内
TEL
026-235-4361

MAIL
office@pta-naganoken.net